

～都に鄙に、また山に～
郵便局を旅する地域活性マガジン

散歩人

SANPOJIN
7月号 vol.10

わたしと手紙
渡辺 徹さん

遙かな自然への
あこがれ 北海道

局長さんご推薦！

お取り寄せの逸品
全国産品プレゼント
(北海道)





contents

散歩人

vol.10 July. 2011

〈特集〉

2 遥かな自然へのあこがれ 北海道

大地をわたる爽やかな風にふかれて、
自然の懐をめぐる 1500km。
いつもよりちょっぴり大きな歩幅で
でっかい北海道を旅しました。

わたしと手紙

8 渡辺 徹さん

10 郵便局のあるまちをたずねて

北海道白糠町・釧路市・標茶町・夕張市・新得町・帯広市

座右宝 より素敵に生きるために

15 城内 実さん

局長さんご推薦！

16 お取り寄せの逸品 全国産品プレゼント（北海道）

〈緊急特集〉

18 あしたの風にのせて

20 切手で訪ねるふるさとの旅

22 川柳「二匹目のどぜう」

24 読者のみなさんから／コラム「龍の鱗」

青空を支える、大地の広さに感動

富良野・美瑛

ラベンダー畑

美瑛から富良野を抜け、占冠（しむかっぷ）まで続く国道237号は「花人街道」とも呼ばれている。道沿いにはラベンダーをはじめ、春はポピーやチューリップ、秋にはダリアなどが咲き、四季折々の花を楽しむことができる

ケンとメリーの木

日産「スカイライン」のCMに登場し、登場人物の名前から「ケンとメリーの木」と名付けられた。樹齢80年ほどのポプラの木で、CM放映から40年経った今でも美瑛の丘めぐりの定番スポットとして親しまれている

十勝岳連峰の山並みと、思わず息を飲む雄大な大地。北海道のほぼ中央に位置し、数多くのドラマやCMの舞台にもなっている富良野・美瑛は人気の観光スポットです。

春から夏にかけて大地を彩る花々は圧巻。中でも7月から8月にかけて最盛期を迎えるラベンダーを目当てに、夏場は毎年多くの人々にぎわいます。

「ラベンダー畑」
ところ／北海道富良野町・中富良野町周辺
交通／旭川空港から旭川のバス「旭川のラベンダー号」で富良野駅前まで約1時間
「ケンとメリーの木」
ところ／北海道美瑛町
交通／旭川空港から旭川のバス「旭川のラベンダー号」で美瑛駅前まで約16分

優しい時間が流れる

珈琲 森の時計

倉本聰氏の脚本で2005年に放映されたドラマ「優しい時間」その雰囲気浸れるスポットとして、男性女性を問わず、ひっきりなしにファンが訪れます。店内で使われているコーヒーカップや調度品はドラマで実際に使用されたもの。ドラマでのように、コーヒー豆を自ら挽けるカウンター席が人気で、9席のカウンターに座するため2〜3時間待つお客様もいるとか。

窓の外に広がる富良野の森を眺めながらコーヒーを飲むひときは、まさに「優しい時間」です。

オリジナルブレンドのコーヒーはまろやかな香り、苦味と酸味のバランスが絶妙



倉本家のオリジナルレシピで作った「森のカレー」。時間をかけて煮込んだ軟らかい人参が、スパイスの辛さを優しい味わいに包みこむ

ところ／北海道富良野市中御料（新富良野プリンスホテル敷地内）
電話／0167-22-1111（新富良野プリンスホテル）
交通／JR富良野駅から徒歩で10分
営業時間／12:00～21:00（6月からの夏季は10:00オープン）
※新富良野プリンスホテルにご宿泊以外の方でも利用可能



親しみを込めた素朴なおもてなし

十勝川温泉 三余庵



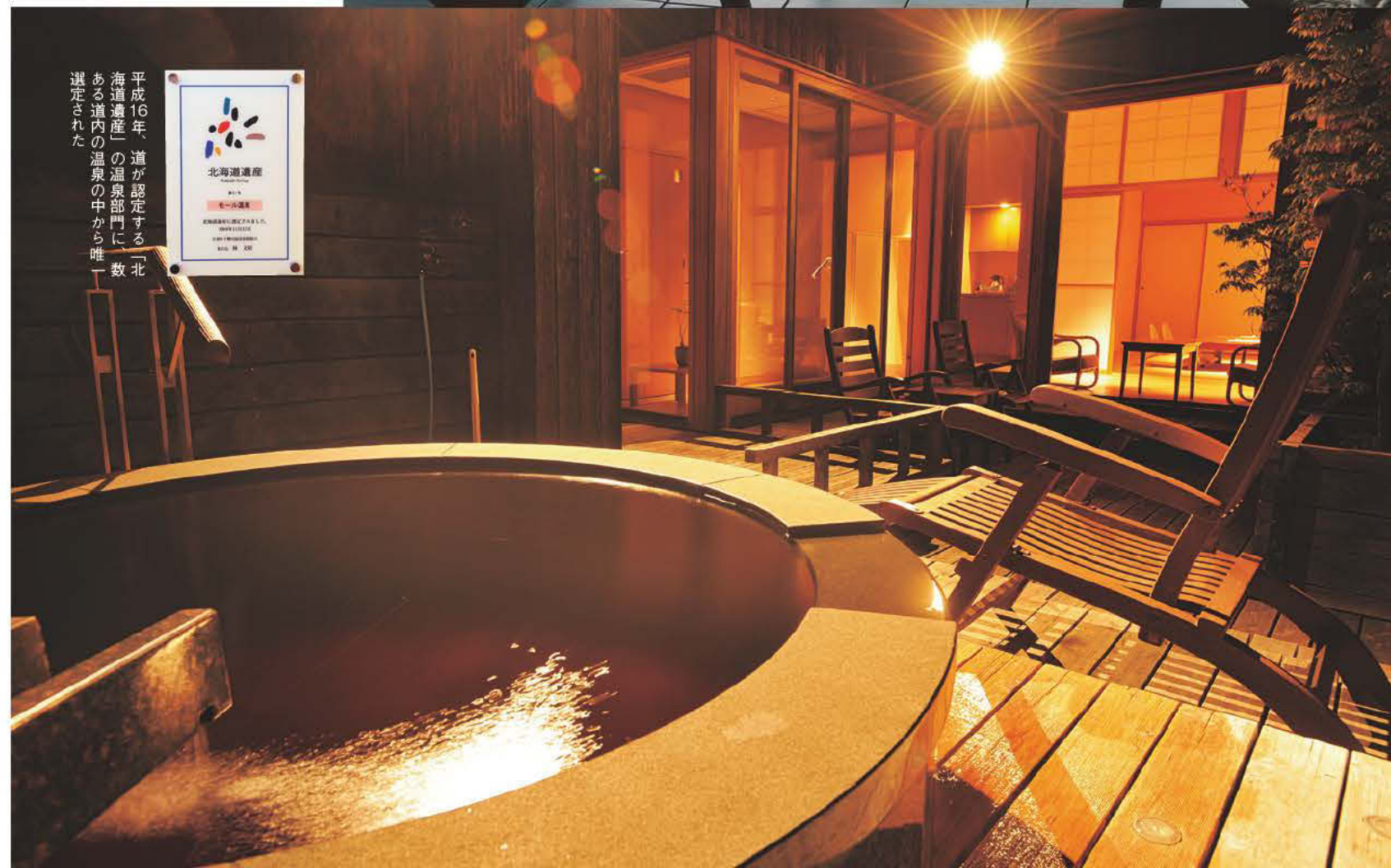
広い窓から日差しが差し込むロビー・ラウンジ。テーマは「十勝の原風景」。十勝千年の森から切り出した「ハンノキ」「ヤナギ」を用いて十勝ならではの自然風景を表現している。



北海道ならではの新鮮な食材にこだわったメニューが自慢。中でも、中札内（なかさつない）村産の枝豆と幕別町産のクリームチーズを使った濃厚な味わいの新緑豆腐（写真左手前）や、十勝産の黒毛和牛ヒレ炭火焼が人気。



「雪国」「細雪」など、11の客室は小説のタイトルからつけられている。部屋のタイプはそれぞれ異なり、間接照明がさらなる安らぎを演出している。



十勝川や白樺の木々に囲まれた林など、北海道らしい風景に出会える十勝川温泉の入り口にたたずむお宿。
人から人へ、手から手へ、ぬくもりが伝わるおもてなしにこだわると三余庵の客室は11部屋。お客様を名前でお呼びするなど、小規模だからこそできる、親しみをこめた温かく素朴なおもてなしにこだわっています。
宿の自慢の一つは温泉。ドイツのバーデンバーデンと、ここ十勝でしかないという希少な泉質「モール温泉」は植物の発酵熱や地熱から、こんこんと湧き出ます。琥珀色のお湯は化粧水

のような保湿効果があり、肌にしっとりとなじむ「美人の湯」として知られています。
「三余庵」の屋号は幕末の漢学者・土屋三余の教えに由来します。土屋三余は帯広開拓の祖・依田勉三の師です。
冬は「歳」の余り
夜は「日」の余り
雨は「時」の余りに由来。
「歳」を忘れ、「日」をのんびりと、そして「時」をゆっくりと過ごす——心からリラックスできる、くつろぎの時間と空間がゆっくりと流れます。

ところ／北海道音更町十勝川温泉南 13
電話／0155-32-6211
料金／夏季＝30,450円～、冬季＝27,300円～（いずれも1泊2食。2名1室ご利用のときの1名様料金）
交通／JR帯広駅、とかち帯広空港間の無料送迎有り（前日までに要予約）

豊かな生態系が息づく

知床

2005年に世界自然遺産に登録された知床。アイヌ語で「シリエトク (Shiretoko)」地「の果て」または「地の突き出たところ・岬」という意味があり、北海道東部に角のように突き出た半島が知床半島です。

知床は人を寄せ付けない地形・環境によって、大自然の秘境と呼ばれ、自然が守られてきました。そうして残された手つかずの自然形態や豊かな生態系が知床の最大の魅力です。



知床自然センターを抜け、知床五湖につながる知床公園線に入ると、エゾシカやキタキツネなど野生の動物たちを間近で見ることができる

知床五湖

知床連山の雪解け水が伏流水となり湧き出してきた5つの湖。山々が湖に映りこむ神秘的な光景の湖沼めぐりが楽しめる。五つの湖はヒグマやエゾシカといった野生動物の生息に適した場所にあるため、一湖から五湖まで全てを回る「地上歩道」をヒグマの活動期(5月10日、7月31日)に利用する場合はガイドの同伴が必要、立入認定の手続きが必要な期間もあるため、事前に確認しておくのがベター

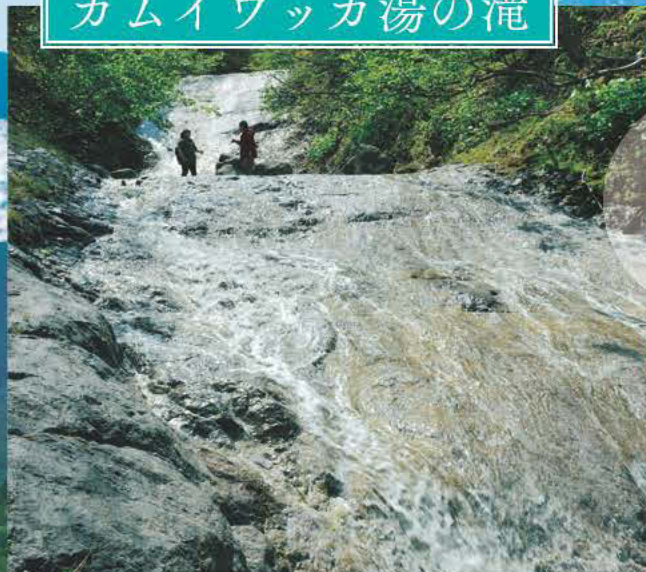
ところ／北海道斜里町岩尾別知床五湖
電話／0152-22125(知床斜里町観光協会)
交通／ウトロ温泉ターミナルから知床五湖行きバスで25分 知床自然センターからシャトルバスが20分おきに運行

入る

必見！知床滝めぐり

知床の見どころは知床五湖だけではありません。「見てよし、入ってよし」——知床八景にも選ばれている魅力的な滝をご紹介します。

カムイワッカ湯の滝



知床を代表する「秘湯」として知られる滝で、硫黄山の中腹から湧き出す天然の温泉が川となり、滝になっている。老若男女誰でも無料で入れるが、脱衣所などの施設はないため、女性は水着着用がおすすめ。滑りやすい岩場を川に沿って登ることになるので、登山靴・スニーカー・わらじやゴムぞうりなど用意する必要がある

ところ／北海道斜里町大字遠音別村字岩尾別
電話／0152-23-3145(斜里バス)
交通／国道334号から知床公園線を通り、岩尾別から未舗装の林道を進む。冬季は通行止めになり、7月下旬から8月下旬までは一般車両通行止めになる(シャトルバスが運行される)など、交通規制期間に関する情報を下記HPなどで事前に確認
http://www.town.shari.hokkaido.jp/shiretoko/point/8p_kamuiwakka.htm (斜里町HP内)

見る

オシンコシンの滝



「日本の滝100選」のひとつ。「オシンコシン」はアイヌ語で「エゾマツが群生するところ」。知床半島最大の滝で、知床の人気の観光スポットになっている。落差80mの高さの滝は途中で二手に分かれるため「双美の滝」とも呼ばれる

ところ／北海道斜里町ウトロ高原
電話／0152-22125(知床斜里町観光協会)
交通／国道334号でウトロ市街地から斜里町市街地方面へ車で10分